



木立の中の遊歩道。上を見上げるとシュガーコーティングされたかのように白い雪をまとった枝葉の間から、空がのぞいています。時折枝からサラサラの粉雪がこぼれて来るのも楽しくて、飽きずに眺めてしまいます。

# 飯舘 百景

## 雪の日のあいの沢



「隣にどうぞ」と笑っているように見えますね。



やわらかな新雪に覆われた道。奥は管理棟。



凍った池とのコントラストが新鮮な「あいの浮き橋」。

れると、朝陽ですでにゆるんできた雪面が、心地よい曲面を描いて、長靴での散策をより楽しいものにしてくれました。高い枝からサラサラと舞い降りる雪のかすかな音と、小鳥のさえずりだけが聴こえてきます。遊歩道にはウサギが跳ねた足跡、木の根元には駆け寄ったリスの足跡、雪に覆われた道路には悠々と横切った行ったキツネの足跡も見つけました。ベンチに腰掛けている木製の人形は、雪の付いた目元がニコニコ顔に見えます。

降雪は、交通や生活面に影響する厄介者でもあります。この朝のあいの沢では、清々しい景色を見せてくれました。

あいの沢に建つ改修中の「宿泊体験館きこり」は、来春にリニューアルオープン予定です。雪景色を楽しみながら、再開の春を待ちましよう。

「村民の森あいの沢」に雪が降りました。

阿武隈高地に位置する飯舘村では、会津地方や中通りと同じように雪が降ることもあれば、太平洋側から続く青空に包まれる日もあって、冬の景色もバリエーションに富んでいます。

夜間にやわらかな新雪が降り積もったこの日、朝陽が昇る頃には雪雲が消えて、静かな雪景色が広がっていました。

あいの沢に足を踏み入